

特別支援（ ）学級道徳学習指導案

日 時 平成28年11月 1日 (火) 1校時
 対 象 1年生4名 2年生4名 計8名
 授業者 T1 T2

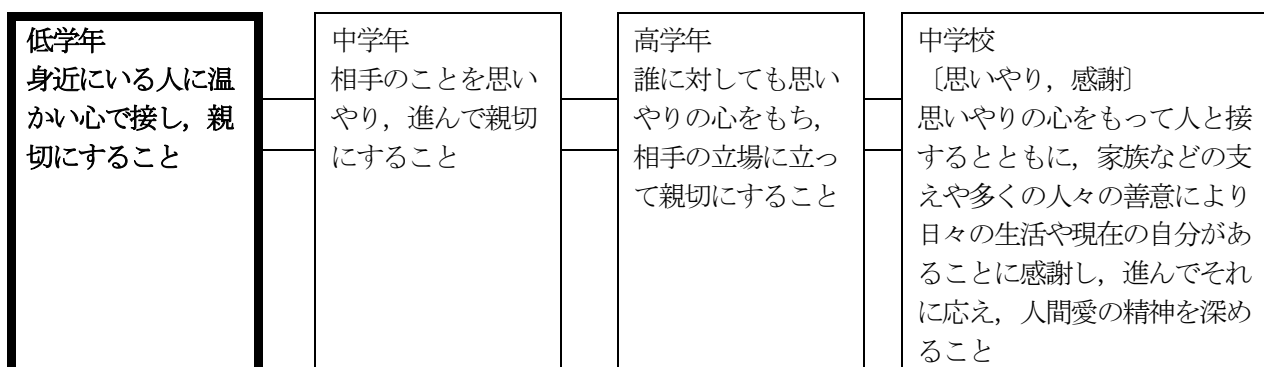
1 主題名 優しい気持ち (B 親切, 思いやり)

2 教材名 「ジオジオのかんむり」(「1ねんせいのどうとく」 文溪堂
 『ジオジオのかんむり』岸田衞子作 中谷千代子絵 福音館書店)

3 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

第1学年及び第2学年の内容の「B 親切, 思いやり」は「身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること」とある。これは, よりよい人間関係を築く上で求められる基本的姿勢として, 相手に対する思いやりの心をもち親切にすることに関する内容項目である。この内容項目は, 次のように発展していく。



人は自分のことばかりを考えたり, 自分の思いだけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできない。したがってお互いが相手に対して思いやりの心をもって接することが不可欠である。思いやりとは, 相手の気持ちや立場を推し量り, 自分の思いを相手に向けることである。そして, それは, 温かく見守り接することや相手の立場に立った励ましや援助などを含む親切な行為, 相手の嫌がる言動は慎むといった態度などに表れる。しかし, 「相手の気持ちを想像する」ことは実際には難しいので, 自分の経験に照らしあわせて「自分は手伝ってもらってうれしい。だから相手もきっとうれしいだろう」などと推し量って考えることが思いやりへとつながっていくものと考え。

これらの心情を育んだ上で, 日常的な関わりをもつ人々に対してだけではなく, 意識の向き難い幼い人や高齢者にも目を向けさせていくことが大切である。そこで, 相手を自らの立場でもって考え, その立場から温かい心による思いやりの行為として表れるような心情を育てていきたいと考える。

(2) 児童について

2組は, 肢体不自由児1, 2年生7名, 3組には, 知的障がい児5名が在籍している。本授業は, 学年及び知的な発達段階を考慮して, 2組の7名と, 3組の1年生1名との合同の形で学習を行う。

児童は, 年齢や発達段階, 障がいの種類や程度も様々であるが, 今年度入学してきた児童を含め, 遊びや生活の中でかわり合いをもつことができるようになってきている。2年生が1年生に掃除や係の仕事を教えたり, 休み時間に誘い合って遊んだりする姿も多く見られるようになってきた。泣いている友だちに優しく声をかけてあげたり, ズックをうまく履けずにいると一生懸命履かせてあげたりするなど優しい気持ちをもって生活している。

また, 生活科の「なかよし学校たんけん」で, 2年生が1年生の手をひいて校内を案内し, 音楽では, 1, 2年生がペアを組み楽しく歌ったり身体表現をしたりすることを通して, 2年生は思いやりをもって接する

ことを学び、1年生は親切にされると嬉しいことを体験した。体育や自立活動においても、ペア活動やグループでの活動の中で、学級の仲間同士、相手を思いやる気持ちが芽生えてきている。

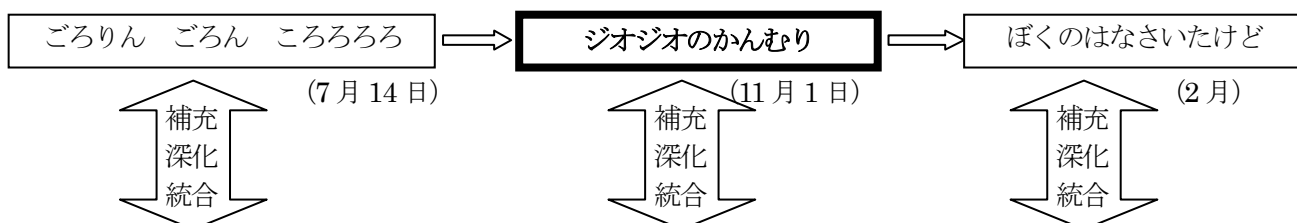
一方で、友だち以外の身近な人へ目を向けることができていないという課題も見られる。それは学級の仲間以外の人から親切にされることは多いが、常に受身の姿勢でいるためである。そこで、もっと周りに目を向け自分ができる親切は積極的にすることや、友だち以外の身近な人へも温かい心で接し親切にしていこうとする気持ちを育てていくことは、今後の社会参加や自立のためにも大切なことであると考え。そして、自分の気持ちをもとに相手の気持ちを考えることや、友だちだけではなく、身近にいる幼い人や高齢者にも温かい気持ちで接し、親切にしようとする心情を育てたいと考える。

(3) 教材について

本教材には、年をとった怖いライオンが、弱い小鳥たちを温かい心で守ろうとする様子が描かれており、身近にいる幼い人や高齢者に目を向けさせることができると物語であると思われる。相手のことを考えて温かい心で接し親切にすることが、実は自分の喜びにつながっていると感じさせるために、最後に小鳥たちの声を幸せな気持ちでじっと聞いているジオジオの気持ちに十分にひたらせたい。そして、百獣の王といわれるライオンではあるけれども、実は寂しさを抱えており、灰色の小鳥との出会いによって優しい気持ちへと変わっていく様子を擬似体験することにより、身の周りの人たちに優しく接しようとする心情を育てていきたいと考える。

(4) 各教科等との関連

【道徳の時間】



<p>【日常の学級経営・・・思いやりの心を培う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の学年の児童と一緒に学び遊ぶことを通して、協調性を養い、互いに優しい気持ちで接しようとする心情を育てる。 ・読書や絵本の読み聞かせを日常化することにより、温かい心を育む。 ・歌を歌うことを大切に、学級の連帯感を高める。 ・栽培活動や当番活動など、みんなで協力して行う活動を多く設定することにより、助け合うことのよさを味わうことができるようにする。 ・家庭と連携しながら基本的な生活習慣を身に付けさせ、情緒的な安定を図る。 	<p>【復興教育】 「思いやりの心ー友だち交流」 (復興教育資料P.22)</p> <p>【各教科等】</p> <p>生活科 おじいちゃん、おばあちゃんとあそぼう会 どうぶつとなかよし</p> <p>音楽 ドレミでうたったりふいたりしよう わらべうたであそぼう OMOIYARIのうた</p> <p>体育 体ほぐしの運動</p> <p>生活単元 野菜を育てよう にこにこ交流会 市内合同学習発表会を成功させよう</p> <p>自立活動 心を合わせてプレイバルーン</p> <p>【児童会】 誕生集会 感謝集会 係・当番の仕事</p> <p>【学校行事】 校外学習</p>
---	---

4 学習指導過程

(1) 共通のねらい

思いやりのある行動が相手の喜びや自分自身の喜びにつながることを考えることを通して、身近にいる若い人や高齢者に優しく接しようとする心情を育てる。

(2) 個人のねらい

氏名	本時にかかわる実態	個人のねらい	支援の手立て
A		<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある行動が相手の喜びや自分の喜びにつながることを感じ、簡単な言葉で表現することができる。 ・困っている友だちに自分から声をかけたり、助けたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に場面をとらえさせることにより、思いやることよさに気づかせる。 ・児童のつぶやきを拾い、全体に広めることで考えを深めさせる。 ・親切にしてもらって嬉しかった経験を振り返り、自分も困っている友だちに親切にしようとする気持ちをもたせる
B		<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある行動について考え、自分の言葉で発表することができる。 ・自分と他者では考えが異なることを理解し、適切な対応ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面絵や表情カードなどの視覚的な支援や、言葉に着目するためのキーワードを提示することにより理解を深める。 ・冠を用いて、登場人物になりきって考えたり発表したりできるようにする。 ・親切な行為も状況によっては迷惑になることがあるという特定の状況を絵や物語で提示し、感想を発表し合うことにより、相手の気持ちを考えられるようにする。
C		<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある行動が相手の喜びや自分の喜びにつながることに気づき、自分の言葉で発表することができる。 ・相手の立場になって考え、みんなが気持ちよく生活できるように心がけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼくだったらどう思うか」「ぼくだったらどうするか」の視点で考えさせる。 ・冠を用いて登場人物になり、自分の考えを発表できるようにする。 ・ペアやグループで活動する場を多く設定し、共同で学習することよさを実感することにより、相手の考えにも耳を傾けられるようにする。
D		<ul style="list-style-type: none"> ・相手を思いやることよさや、その行為が相手の喜びや自分の喜びにつながることに気づき、自分の言葉で発表することができる。 ・他者の欲求や意図を理解し、その場に合った対応ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技などを行うことにより、場面の状況を理解したり想起したりしやすいようにする。 ・友だちの考えを聞きながら、ライオンの優しさと自分の気持ちを比べながら考えを深める。 ・絵や物語で表情や態度から感情が理解できるよう提示し、気持ちを話し合うことにより、状況に応じたふるまいができるようにする。

E		<ul style="list-style-type: none"> ・思いやることのよさに気づき、自分の言葉で発表することができる。 ・困ったときには援助を要求してもよいことを理解し、「お願いします。」「ありがとう。」が素直に言える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に着目するためのキーワードを提示することにより理解を深める。 ・冠や具体物を用いて登場人物になって台詞を言うことにより言葉に着目させる。 ・困ったことやできないことがあるときは無理せず支援してもらってもよいことを伝え、一緒に依頼の言葉やお礼の言葉を声に出すことで抵抗感をなくし、親切な行為を素直に受け止められるようにする。
F		<ul style="list-style-type: none"> ・親切な行いについて、簡単な言葉で発表することができる。 ・思い通りにならなくても、友だちと一緒に学習したり活動したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面絵や表情カードなどの視覚的な支援により理解を深める。 ・冠を用いて登場人物になり、自分の考えを発表できるようにする。 ・ペアやグループで同じ内容を楽しんで行う場を設定することにより、多少思う通りにいかななくても、譲り合うことで楽しさが継続することを体得させ、優しい気持ちをもたせる。
G		<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの意見を手がかりとして考え、動作で表現したり教師の言葉を模倣したりすることができる。 ・友だちの表情や態度から感情を理解し、適切な行動をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冠を用いて登場人物になり、動作や表情で気持ちを表現できるようにする。 ・指導者が気持ちをくみ取りながら安心して発表できるようにする。 ・表情の違いから感情が理解できるよう、絵や写真の提示や対応する感情を表す言葉の提示により、感情の変化に注目できるようにし、他を思いやる行動につなげる。
H		<ul style="list-style-type: none"> ・表情や動作で、自分の思いを表現したり、教師の言葉を模倣したりすることができる。 ・「うれしい」「悲しい」などの感情を表す言葉を覚え、状況に応じて使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冠を用いることにより登場人物になきって、動作や表情で気持ちを表現ようにする。 ・一対一対応で気持ちを引き出し、全体に広める。 ・日常の場面でも教師が感情を表す言葉をわかりやすく使用したり、状況に対応する言葉を視覚的に提示したりすることにより、語彙を増やし他を思いやる言動につなげる。

※ 太字は個別の指導計画より

(3) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	期待される児童の反応	指導上の留意点 T 1	個別の支援 T 2
気づく 3分	1 ライオンのイメージについて話し合う。 ○ ライオンはどんな動物だと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・強い。 ・怖い。 ・動物の王様。百獣の王。 ・他の動物を襲う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライオンについて知っていることを発表させ、教材に親しみをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・BとFが落ち着いて参加できるように、様子を見ながら声がけをする。
深める	2 教材「ジオジオのかんむり」のお話を聞き、印象に残ったことを発表し合う。 ○ どんな場面が心に残りましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオジオが本当はつまらなかったところ。 ・灰色の鳥の話聞いて、冠に卵を産むよう話すところ。 ・頭に卵を乗せて、のっそり歩くところ。 ・小鳥の声を嬉しそうに聞いているところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考えさせるために、興味、関心を惹くよう、パネルシアターを取り入れ、登場人物の動きを丁寧に演じる。 ・場面を振り返ることで教材に親しみをもたせる。 ・発達段階に配慮し、場面絵を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな場面を指さす方法でもよいことを伝える。
	3 ジオジオの気持ちについて話し合い、道徳的価値の理解を図る。 ①きりんやしまうまがこそこそ隠れるのを見て、ジオジオはどんな気持ちだったでしょう。 ②卵がみんななくなったという灰色の鳥の話聞いたジオジオはどんなことを考えていたでしょう。 ③卵を頭の上に乗せて、のっそり、のっそり歩くジオジオは、どんな気持ちだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ぼっちでつまらない。 ・みんな逃げから嫌だな。 ・話し相手がいなくてつまらない。 ・年をとってつまらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ぼっちのときの寂しさを想起させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えていたライオンのイメージとは違うジオジオの姿に関心をもたせるよう、冠をかぶって気持ちを発表させる。 ・一人ぼっちのときの寂しさを想起させる。

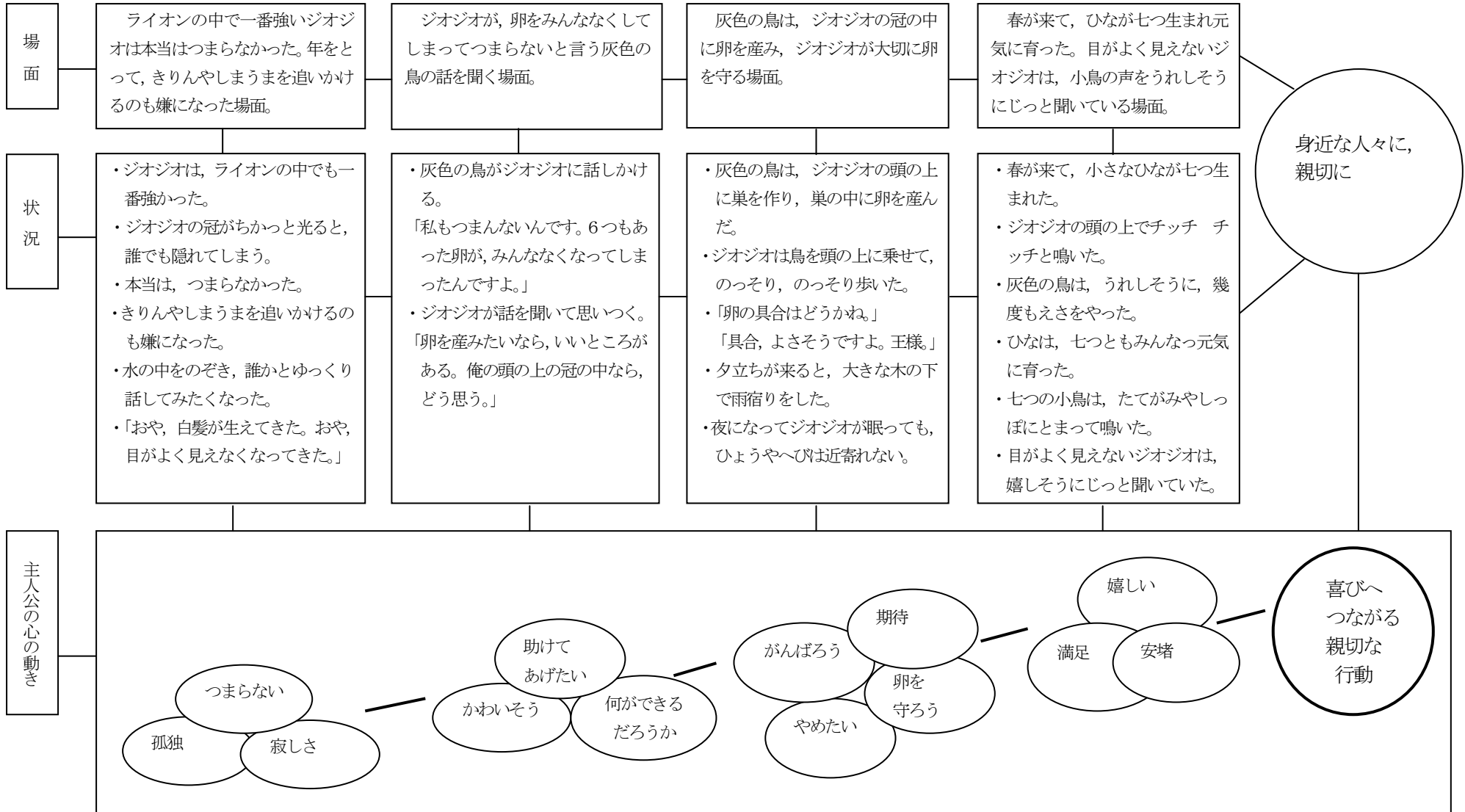
どうしてうれしい^き気持ちになるのだろう。

22分	<p>④小鳥の声をじっと聞いている ジオジオはどんなことを思っているでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・風が吹いたら卵が飛ばされな いようにしよう。 ・大変だな。早く生まれな いかな。 ・やめたいな。でも、灰色の鳥 のためにがんばろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな心遣いを実感と して捉えられるようにす るために、卵を乗せた冠を 実際にかぶって歩かせ、そ の思いを発表させる。 ・雨や風の効果音を使って臨 場感を出し、どんなに大変 でも、相手のことを考えて 自分のできることをしよ うとする気持ちを引き出 す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の反応を補足 するために児童と 同じ立場に立って T1に応答する。 ・児童の発言やつぶ やきを類別して板 書する。 ・CDの操作をする。
15分	<p>4 今までの自分の生活を振り 返る。 ○今まで、だれかに親切にした ことはありますか。そのとき どんな気持ちでしたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・となんさんとの交流で、支援 学校の友だちが転ばないよ うに手をつないであげたら 「ありがとう。」と言われて 嬉しかった。 ・おじいちゃん、おばあちゃん とあそぼう会で、一緒に遊ん で嬉しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる道徳的価値の深化を 図るために、自分たちの活 動の様子を写した写真を 提示し、「思いやりの場面」 やその時の気持ちを思い 起こせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GとHが発言でき るようそばでヒン トを与える。Bと Fの集中を促すた めに声がけをす る。
5分	<p>5 学級の歌「OMOIYARIの うた」を歌い、思いやりの気 持ちを高める。 ○「OMOIYARIのうた」を歌い ましょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・映像で児童の「優しさ」「思 いやり」の場面を示しなが ら、全員で歌うことによ り、温かい気持ちが高まる よう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の準備をする。

(4) 教材の吟味

教材名 「ジオジオのかんむり」
(1ねんせいのどうとく 文溪堂)

ねらい 思いやりのある行動が相手の喜びや自分自身の喜びにつながることを考えることを通して、身近にいる幼いや高齢者に優しく接しようとする心情を育てる。



5 推進計画1(重点内容項目)

学期	重点内容項目	A 希望と勇氣,努力と強い意志		D 生命の尊さ		B 親切・思いやり	
		自分のやらなければならない勉強や仕事をしっかりと行う。		自己を大切にし生命を大切にすることを。		相手の立場に立って考え、優しく接しようとする。	
一学期	目指す子ども像	自分の役割ややらなければならないことをしっかりと行うことの大切さがわかる子ども。		身の周りの生物には命があることを感じる子ども。		親切にされたときのうれしさを感じ、自分も親切にしようとする子ども。	
	道徳の時間	主題・資料名・出典名	自分の力で がんばれボボ(文溪堂)	命の声 『あたらしいのち』(文溪堂)	友だちに親切に 『ごろりん ごろん ごろろろ』(文溪堂)		
		ねらい	自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりと行うとする態度を育てる。	身の回りの生命に気づき、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。	思いやりのある行動が相手の喜びやみんなの喜びにつながることを考えるを通して、友だちを助けてあげようとする心情を育てる。		
各教科との関連	②体育「水遊び」 それぞれのめあてをもち、くじけずにやり抜こうとする。 ③学校行事「運動会」 並び方や競技の参加の仕方を理解し、演技や競技を最後まで行う。		①生活単元学習「野菜をそだてよう」 野菜の水やりや除草などの作業を通して野菜の成長に喜びを感じる。 ②生活科「きれいにさいてね」「春を見つけよう」 アサガオなどの種をまいて育てたり、校庭や花壇の花などの植物や昆虫を探したりすることによって、身の回りの動植物の生命を感じる。		①生活科「学校たんけん」 1,2年生がペアを組み、学年が下学年をお世話する中で、上学年は思いやりをもって接し、下学年も親切にされるとうれしい気持ちになることを体験する。 ②音楽「うたでなかよし」「うたでともだちのわをひろげよう」 1,2年生がペアを組み、楽しく歌を歌ったり身体表現をしたりしながら、上学年は下学年に優しく接し、下学年は優しくしてもらう体験をすることでうれしさを味わう。		
二学期	目指す子ども像	自分の決めたことを最後までやり遂げようとする子ども。		動植物の生命の尊さに気づく子ども。		親切にすることのよさを感じ、相手のことを思いやり親切にしようとする子ども。	
	道徳の時間	主題・資料名・出典名	やりきる力 『チロロががんばれ』(光文書院)	大切な命 『がんばれアヌーラ』(光村図書)	優しい気持ち 『ジジョオのかんむり』(文溪堂)		
		ねらい	自分がやろうと決めたことは最後までしっかりと行うとする心情を育てる。	生命の尊さを感じ取り、生命を大切にしようとする心情を育てる。	思いやりのある行動が相手の喜びや自分自身の喜びにつながることを考えるを通して、身近にいる幼い人や高齢者に優しく接しようとする心情を育てる。		
各教科との関連	①学校行事「校内マラソン大会」 自分なりのめあてに向かって、最後までやり抜こうとする。 ②図工「市内合同作品展に向けて」 作品を仕上げる過程で、よりよいものを目指し、粘り強く作り上げようとする。 ③市内合同学習発表会 自主性や創造性を伸ばすとともに、仲間と助け合っ一つのことをやり遂げようとする。		①生活科「いきものとなかよし」「どうぶつえんへいこう」 自然や動植物に触れながら、様々な動植物との出会いを楽しみ、生命の尊さに気づく。 ②児童会行事「感謝集会」 いつも自分の成長を見守ってくれている家族の存在に気づき、感謝する気持ちをもつ。		①生活科「おじいちゃん、おばあちゃんとあそぼう会」 地域のおじいちゃん、おばあちゃんとのふれ合いの中で、上学年は会のきまりや遊び方を優しく教え、下学年も温かい気持ちで接する。 ②市内合同学習発表会 力を合わせて劇を作り上げるを通して、友だちのよさを感じ、認めたり励ましたりする。		
三学期	目指す子ども像	自分の役割ややらなければならないことを最後までやり抜こうとする子ども。		生命を大切にしようとする子ども。		身近にいる人々に、自分から進んで親切にしようとする子ども。	
	道徳の時間	主題・資料名・出典名	なんどもねばりよく 『こぐまのらっぱ』(東京書籍)	たった一つの命 『いのちがあつてよかった』(東京書籍)	あたたかいところでなかよく 『ぼくのはなさいたけど』(東京書籍)		
		ねらい	自分で行わなければならないことは、最後まで粘り強く行うとする心情を育てる。	かけがえのない命の尊さに気づき、大切にすることを育てる。	相手の立場を考えた思いやりのある行動が、周囲の喜びや自分自身の喜びにつながることを考えるを通して、身近にいる人々に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。		
各教科との関連	①生活単元学習「感謝の気持ちを伝えよう」 家族へ手紙を書いたり、メッセージを直接伝えたりしながら、自分を見守っている家族のために自分ができることを考える。 ②学級活動「係活動・当番活動」 当番や係活動を最後まで行う。		①生活「もうすぐ2ねんせい」「大きくなった自分のことをまとめよう」 1年間の生活や大きくなった自分をふり返り、自分の成長や支えてくれた人たちへ感謝の気持ちをもつ。 ③児童会行事「誕生集会」 自分たちはたくさんの人たちに支えられて育っていることに気づき、感謝の気持ちをもつ。		①生活単元学習「卒業と進級を祝う会」 一人一人の役割を助け合っ進める。 ②体育「冬の体育教室」 上学年は下学年のお世話をするとともに、仲よくそり遊びを行う。		

推進計画2(学級における道徳指導計画一覧)

重点	学期	道徳の時間 ・道徳副読本 ・私たちの道徳	学校諸行事	児童会行事 学級活動 <small>斜体は児童会目標</small>	復興教育 「いきる」 「かかわる」	国語	算数	生活	音楽	図工	体育	生活単元 学習	自立活動
希望と 勇氣・ 努力と 強い意 志	1	がんばれポポ (文溪堂)	始業式 運動会 市内合同運動 会	なかよしタイム 運動会を成功させよう(5 月) さしすせ掃除に取り組もう (7月)	<いきる> 「ゆめ先生がつ たえたこと」	ほんはとも だち スイミー	あわせてい くつ、ふえると いくつ たし算、ひき 算のひっ算	すたあと ぶっく 1年生をむ かえよう	はくをかんじ てあそぼう はくのまとま りをかんにじ とろう	ひかりのくに のなかまたち ゆめのぼうけ んものがたり	表現遊び 水遊び	野菜を育て よう	ストレッチと筋 カトレーニング の流れを覚え よう
	2	チイロがんばれ (光文書院)	校内マラソン大会	なかよしタイム マラソン大会に向けて 心と体をきたえよう(10月)		しらせたい な、見せたい な お手紙	たしざん、 ひきざん かけ算	じぶんでで きるよ	いろいろな音 を楽しもう	市内合同作 品展に向け て	水遊び	野菜を収穫 しよう	目標を決め てトレーニン グの流れを覚 えよう
	3	こぐまのらっぱ (東京書籍)	冬の体育教室	なかよしタイム 六送会 金管バンドの引き継ぎ 一年間のまとめをし、卒業 進級しよう(3月)	<いきる> 「友達や家族と あそぼう」	いいことい っぱい、一年生 楽しかったよ 二年生	なんじなん ぶん 長いものの 長さのたん い	すてきな3 年生になろ う	音楽をあわ せて楽しも う	こころのは なをさかせ よう	ボール遊び	感謝の気持 ちを伝えよ う	必要なト レーニン グを選択しよ う
生命の 尊さ	1	あたらしいのち (文溪堂)	入学式 交通安全教室 避難訓練	一年生を迎える会 第1回誕生集会 絆募金 正しい下歩行をころがけよう(5 月) 歌声を響かせよう(6月)		はなのみち ふきのとう	なかまづくり と かず 時ごとと時 間	きれいにさ いてね 春をみつけ よう	うたでなかよ し ひょうしをか んじてリズム をうとう	しぜんとな かよし	体ほぐしの 運動	野菜を育て よう	自分のから だを知ろう
	2	がんばれアヌー (光村図書)	祖父母参観日 避難訓練 感謝集会 市内合同学習発 表会	第2回誕生集会 絆募金 しっかりたべよう(8・9月)	<そなえる> 「そんなときど うする?」	ずうっと、ず っと、大すきだ よ どうぶつえん のじゆうい	どちらがお おい 計算のくふ う	いきものと なかよし どうぶつえ んへいこう	ようすをお もういかべ よう 手のひらを たいように	あさがおの 絵 どうぶつさ んとわたし	体ほぐしの 運動	学校を探検し よう 野菜の収穫 パーティーを しよう	得意なこと、 不得意なこと
	3	いのちがあつてよ かった (東京書籍)	こころの授業 卒業式	第3回誕生集会 絆募金 六年生を送る会 六年生を送る会を成功させ よう(2月)		どうぶつの 赤ちゃん スーホの白 い馬	おおきいか ず 計算ピラミ ッド	もうすぐ2ね んせい! 大きくなった 自分のことを まとめよう	日本の歌を 楽しもう	ゆめのまちさ んちようめ びこりんせい のカラフル パーティー	体ほぐしの 運動	卒業・進級 を祝う会をし よう	健康なこと について考 えよう
親切・ 思いや り	1	ごろりん ごろん ころろろ (文溪堂)	JRC登録式	なかよしタイム 元気に大きな声であいさ つしよう(4月)	<かかわる> 友だちや家族と あそぼう	こえのおおき さどうするの 書いて知らせ よう	どちらがな が い 水のかさの たんい	学校たんけ ん なかよし学 校あんない	うたでなかよ し うたでともだ ちのわをひろ げよう	ちよっきん ばでかざろ う えのぐじま	ボール遊び	どうぞよろし く	風船バレー
	2	ジオジオのかんむ り (文溪堂)	校外学習	なかよしタイム 進んで読書に取り組もう (11月)	<かかわる> 思いやりの心ー 友達交流	ともだちに きいてみよ う お話のさく しやになろう	かたちあそ び 4けたの数	おじいちゃ ん、おばあ ちゃんとお そぼう	ドレミでう たったりふ いたりしよう	あきをなら べていいか んじ	体ほぐしの 運動	市内合同学 習発表会を 成功させよ う	プレイバ ルーン
	3	ぼくのはなさいた けど (東京書籍)	冬の体育教室	なかよしタイム ボランティア活動を積極 的に行おう(12・1月)		すすんで考 えを出し合 おう	かたちづくり はこの形	ありがとうを とどけよう	音楽をあわ せて楽しも う	かみを立て たかたちか ら	雪遊び	卒業・進級 を祝う会をし よう	プレイバ ルーン

ジオジオのかんむり

うれしい気もちになれたのはどうしてだろう。

つまらなかった

ひとりぼっち。
みんなにげる。
話しあい手がいない。
年をとった。



うむ・・・

かわいそう。
ぼくと同じ。
何とかしてやりたい。
ぼくにできることはないか。



やさしさ
みんな しあわせ

「たまごのぐあいはどうかね。」

「ぐあい、よさそうですよ、おうさま。」
おとさないようにするよ。
大切にまもるよ。

早く生まれるといいね。
たいへんだな。



じつときいていたのです。

ひなが生まれてよかった。
元気にそだつといいな。
いいことをしてよかったな。
かんむりがやくに立った。

